

フォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

「がん」になっても、これまでの暮らしをあきらめない、自分らしく生き抜く。

「がん」の治療、予後が大きく変わろうとしています。

完治を目指す治療がある一方で、たとえ再発や転移をしても、「がん」によって生じる“さまざまな痛み”をできるだけ減らしていく治療やケアが始まっています。

「支持療法」「緩和ケア」などを診断直後から取り入れることで、がん治療そのものに効果があるといわれています。

フォーラムでは、日々進化するがん治療と副作用への対処法など、最新の医療情報とともに、本人に寄り添う支援のありようについて、医療従事者、当事者の方が語り合います。

参加者募集中

イラスト/マルシェル

日時：2015年 **6月27日** (土)

開場：午後0時30分 開演：午後1時 終演：午後3時30分 (予定)

※ 途中休憩あり

会場：静岡市民文化会館
中ホール

住所：静岡県静岡市葵区駿府町2-90

定員：700名 **参加無料** 事前の申し込みが必要です。
申し込み方法は裏面をご覧ください。

交通

- 静岡鉄道「新静岡駅」または「日吉町駅」から徒歩約10分
- バス「市民文化会館入口」停留所下車 徒歩約1分
(こども病院線、唐瀬線、上足洗線、水梨東高線、竜爪山線、東部団地線、北街道線)

※ 公共交通機関をご利用ください。



静岡市民文化会館

北口
JR静岡駅
南口

主催 ● NHK厚生文化事業団 NHKエンタープライズ 読売新聞社

後援 ● NHK静岡放送局 厚生労働省 静岡県 静岡市 社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 社会福祉法人静岡市社会福祉協議会 一般社団法人静岡県医師会
一般社団法人静岡県歯科医師会 公益社団法人静岡県薬剤師会 公益社団法人静岡県看護協会

協賛 ● 自然と健康+科学+ 漢方のツムラ

パネリストプロフィール

山口 建

やまぐち けん

静岡県立静岡がんセンター 総長

1974年慶應義塾大学医学部卒業。1999年国立がん研究センター研究所副所長。同年宮内庁御用掛就任(併任)。2002年より現職。肺がんの腫瘍マーカー開発に対し、2000年高松宮妃癌研究基金学術賞、2014年ISOBM ABBOTT賞を受賞。厚生労働省がん対策推進協議会委員およびがん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会座長を務め、我が国のがん対策にも貢献。2002年に創設された静岡がんセンターでは最先端がん医療の実践とともに徹底した患者家族支援を進め、2012年センターとして朝日がん大賞を受賞した。

中上 和彦

なかがみ かずひこ

静岡県立総合病院 緩和医療管理監、がん診療センター長、乳腺外科主任医長

広島大学医学部卒業。原爆放射能医学研究所腫瘍外科。静岡県立総合病院で外科医としてがん診療に携わるようになる。主に乳がん患者の診断、手術を行っており、6年前からがん診療連携拠点病院として乳腺外科を立ち上げ、抗がん剤といった化学療法の治療はもちろん、治験にも多く参画している。また患者が充実した生活を送るために痛みや苦痛の軽減といった緩和ケア、サポーターブケアにも力を注いでいる。

池田 容子

いけだ ようこ

がん当事者 静岡県がん患者会「一歩一歩の会」

三島市在住。2013年に左胸に異変を感じ、乳がんの末期と告知される。手術のできない状態であったが、抗がん剤治療で腫瘍を小さくし、1年後に左の乳房を全摘手術。抗がん剤や放射線治療の副作用に苦しみ、主婦として自分の役割であった家事もできない状態が続き、うつ状態に陥り孤立を深めていたが、手術後に知人から紹介されたがんサロンに通い始め、同じ苦しみを抱く患者と心を通い合わせることで力を得る。現在は抗がん剤治療を受けながら、生後三ヶ月の孫の世話にいそむ日々を送っている。

河村 裕美

かわむら ひろみ

認定NPO法人 オレンジティ 理事長

熱海市出身。静岡県庁職員。社会福祉士・PRプランナー。1999年7月結婚、1週間後に子宮頸がんを告知され治療。闘病中の経験から、患者サポートの重要性を認識し、2002年にサポートグループ「オレンジティ」を設立。2004年にNPO法人化し、患者サポートに加え、一般向けに検診啓発も始める。2013年5月には甲状腺がんを治療。全国向けに子宮頸がんの啓発を開始。現在は、講演、セミナーの開催など企業、医療機関と連携し、患者のサポートに加え、地域格差や女性特有のがんの予防啓発も行う。

秋月 玲子

あきづき れいこ

静岡県立静岡がんセンター 医監

慶應義塾大学医学部卒業後、外科医として医療に携わるなか2005年に入省。厚生労働省では国際保健や診療報酬などに加え、がん対策に従事。国のがん対策基本計画の策定を通じ、がん患者の就労問題、がん拠点病院と地域医療機関との連携、小児がん対策などに力を注いだ。米ハーバード公衆衛生大学院も卒業し、2014年から静岡県立静岡がんセンターにてがんを抱えながら住み慣れた地域で治療を続けていくための方法や、臨床研究体制の充実などに取り組んでいる。

コーディネーター

町永 俊雄

まちなが としお

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき(単信)、FAX、メール(ホームページの申し込みフォームから)のいずれかに

1. 名前(必ず個人名を記入) 2. 郵便番号・住所 3. 電話番号 4. 参加人数

5. ご一緒に参加される方の名前(複数名の参加を希望される場合) を書いて、お申し込みください。

お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「フォーラム がんと生きる 静岡」係

FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いのないようお願いいたします。

ホームページ <http://www.npwo.or.jp/>

定員になり次第
締め切ります

※当日の入場は『入場整理券(1枚で1人入場可)』が必要です。6月中旬以降、順次、希望人数分を封書でお送りいたします。

※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤り及び記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合があるので、ご注意ください。

※個人情報は適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

フォーラムがん と生きる静岡	ふりがな	参加人数	< ご一緒に参加される方の名前 >
	名前 ※必ず個人名をご記入ください。	人	
	住所 〒 ※勤務先住所の場合は、勤務先名も忘れずにご記入ください。		
	電話番号		

お問い合わせ

NHK厚生文化事業団 TEL 03-5728-6633 (平日 午前10時~午後6時)